

No.15

藤工業 株式会社

専務取締役・福祉ネイリスト

リレー・フォー・ライフジャパン  
つるおか 実行委員長

平方 さおり

第8期生



鶴岡市に本社を構え、土木工事を中心に、立入防止柵・ガードレール設置工事等を手掛ける藤工業株式会社。そこで専務取締役として活躍する傍ら、福祉ネイリストという新しいジャンルでの業務や、がんサバイバー(がん経験者)・そのご家族を支援する「リレー・フォー・ライフ」ジャパンつるおかの実行委員長など、多方面で活躍する8期生、平方さおりさんを取材した。

会社は「人」、従業員は「家族」

平方さんの業務は、経理・労務管理から安全管理、現場管理、顧客との打ち合わせ等に加え、時には現場作業やSNSでの会社発信に至るまで極めて多岐に渡る。しかもこれらの業務を建設業に携わってからの僅か5年でこなしている。獅子奮迅の働きぶりを支えるのは、「建設業界に多い、やんちゃな青春時代を送ってきた若者を助けた」「人を雇う」ということはその人の人生を引き受けるという「こと」という信念だ。そう考えるようになったのは、当時19歳だった最愛の息子を交通事故で亡くしたという壮絶な経験が影響している。「やんちゃ」だけじゃないやりのあった息子。その息子が死をもっと教えてくれたこと。息子にしてやれなかったことを従業員にしてあげたい。目に涙を浮かべながらそう語る、平方さんの想いが繋げる家族のような会社。それが藤工業だ。

たったひとつの約束

「嘘をつかない、隠さない」藤工業と従業員の間には、たったひとつの約束がある。ミスをしたと間違ってもいい。人として最低限守らなければならないことを伝えたいと願う。経営者側としても従業員に対する嘘は絶対につかない。その上で、従業員を食事に連れて行ったり、田舎や芋煮会を企画して楽しんでもらうなど、現場で泥まみれになって働く従業員への感謝を忘れない。役員報酬を削ってまで福利厚生費を計上しているという。

以前、平方さんは藤工業を退職し地元の大企業へ就職した元従業員からある相談を受けた。新しい職場において、当初の採用要件と実際の要件が相違していたのだ。自社を退職した従業員であるにも関わらず、平方さんは就職先の社長へ赴き、雇用契約との齟齬解消を直談判。労働条件の改善を実現した。

藤工業の肝つ玉母さんと従業員の間には、確かな信頼関係が存在している。

誰かのために行動する利他の精神

平方さんには29歳の時がんを患った経験がある。その時の辛い経験から、がんに苦しむ人やその家族に同じ思い

をして欲しくないという強い気持ちがある。それを表現するため、全国の都道府県で唯一組織されていなかった「リレー・フォー・ライフ」ジャパンつるおかの立ち上げ実行委員長に就任した。そして、来年には鶴岡市で8年振りにチャリティイベントを開催することが決まっている。「自分もそうでしたが、がんを患うと社会との繋がりを自ら断ってしまう人が多いんです。そういう人を孤立させたくない。そんな強い思いが平方さんを突き動かす。

現在の業務に従事する前、平方さんには「福祉ネイリストになる」という夢があった。介護施設や緩和ケア病棟を訪問し「ネイル」を施術するというものだ。鏡が無くとも目で見る「美」。爪を美しくすることで「人間らしさを取り戻す」という意味を持つ、認知症のケア技法「ユマニチュード」の実現を目指す活動である。しかしその夢は、平方さん自身が遭遇した事故により、右腕麻痺となったことで断れた。それでも前向き、手が不自由な自分に出る仕事を必死に考え勉強してきた結果、現在の藤工業の平方さんがある。そして、建設業の業務にも慣れ、右腕の感覚も少しずつ戻りつつある今、藤工業内にネイル部門を立ち上げ、少しずつ訪問活動を開始している。絶望的な状況にあっても常に前向き、志をあきらめない。たぐさんの人の力になりたいと願う「利他」の精神には頭が下がるばかりである。

若手経営者塾で得たもの

入塾のきっかけは、経営者として厳しい側面を持った対応をすることを学びたいと考えたからだ。異業種メンバーで構成されている講師による講義に加え、共に入塾した塾生の仕事に対する熱い気持ちや平方さんにとって良い刺激になったと言った。講師や塾生と様々な課題に対してディスカッションを繰り返したことでたどり着いた考えがあると言った。「経営に答えはない。」「物事を達成していく為には様々な意見や考えがある。社長をはじめ従業員のアイデアや考えを尊重しながらチーム力を高める。若手経営者塾を通して学んだ平方さんの行動指針だ。

一人でも多くの人が笑えれば

最愛の息子の死、自らががんの経験、右腕の麻痺など壮絶な苦難を乗り越え、それでもなお、前を向いて進み続ける平方さん。自分が辛い経験をしてきたからこそ「誰かのために」を最優先に考える。やんちゃな若者も、がん患者や家族も、高齢者も「ひとりでも多くの人が笑えるようになればいい。」そう語ってくれた平方さんの「志」が成就することを、願ってやまない。

藤工業 株式会社

鶴岡市西茅原町14番13号

Mail: fuji.kougyou.green@gmail.com

インスタフォローお願いします →



つなぐ力で100年幸せな街づくり

鶴岡信用金庫

https://www.tsuruoka-sk.jp/

